

まちづくり懇話会

市長講話

令和元年6月

日光市長

おおしま
大嶋

かずお
一生

強く、優しい、人が輝く 日光づくりをめざして

“日光プライド”を次世代につなぎ、
持続可能なまちづくりを進めます



自己紹介

◆ 略歴

1965年(昭和40年)1月25日生まれ 54歳

県立栃木高等学校、東北福祉大学卒業

平成元年 葵建設株式会社入社

平成11年 社団法人今市青年会議所理事長

平成14年 社団法人日本青年会議所栃木ブロック協議会会長

平成18年～22年4月 葵建設株式会社代表取締役

平成22年4月～平成26年3月 日光市議会議員

平成30年4月～ 日光市長

趣味:ウォーキング、ゴルフ

座右の銘:「意志のあるところに、必ず道あり」

「受けた恩は石に刻み、かけた情けは水に流す」

【現状と課題】

地方自治体は人口減少や少子高齢化、財政の硬直化等どこも同じような悩みを抱えている

- ◆人口減少や税収が下がる中でいかに持続可能なまちを創っていくか
- ◆きびきびと動く、やる気のある、市民にやさしい職員組織の確立
- ◆他の自治体に比べて多い公共施設の維持管理をどうするか

【強い日光を創る】

- 強い日光の源を創るために行政改革と職員の意識改革を進める
- 民間の経営感覚を取り入れる
- 稼げる日光、強い日光を創る

重点項目

① 産業振興・雇用対策の充実

◆観光協会との連携強化

- 「日光の社寺」登録20周年記念し、国内の世界遺産をもつ自治体が集まる「世界遺産サミット」を開催予定。【今後実施】
- オリンピックイヤーに向け、さらにオリンピックの後を見据えて強い観光立市をつくる。【今後実施】

②自治体経営の刷新

◆組織のスリム化と管理職のマネジメント能力強化

- 限られた行政資源(ヒト・モノ・カネ)を有効に活用し、市民サービスを維持しながら市政経営の強化を図り、行政課題へ対応する。
- 市職員が減少する中、組織単位を大きくし、職員を適正に配置し、多様化する行政ニーズに柔軟かつ迅速に対応する。

【H31 機構改革実施済、10部49課136係→9部44課129係】

◆公共施設マネジメントの着実な実行

- 3カ所ある文化会館の統廃合を検討。【今後、関係者も含めた検討委員会立ち上げ】
- 民間事業者に意見や提案を求めるサウンディング(対話)型市場調査の実施。【実施済】

◆職員の意識改革

- 行財政改革のさらなる推進。
- 性的マイノリティーに対する市職員の理解を高めるため、人権講演会の実施や新規職員研修にLGBTに関する項目を追加。【H31から新採研修で実施】
- 職員の積極的な地域活動への参加を図るため、仕組みを見直し、活動を支援。【今後実施】

◆ 新たな財源の確保

- 納税の公平性や個人情報保護のため、納税貯蓄組合への補助金廃止。【H31から実施】
- 新たな財源確保を目指し、関係団体を交えた検討委員会や庁内プロジェクトチームの設置。
【今後実施】
- 補助金の整理合理化を検討する組織の立ち上げ。【今後、有識者による検討委員会立ち上げ】

【優しい日光を創る】

- 将来を担う子どもたちへの確かな支援
- 高齢者・障がいのある人が笑顔で健やかに過ごすことができるよう福祉の充実を推進
- 安定的な医療体制の確保

重点項目

① 少子化対策・子育て支援

◆少子化対策

- とちぎ結婚支援センターの登録費用の助成
【H31から実施】

◆子育て支援の推進

- 多子世帯への給食費補助の充実【今後実施】
- 18歳未満の子ども医療費助成を継続

②高齢者福祉・障がい者福祉の充実

[高齢者福祉の充実]

◆高齢者運転免許証自主返納支援制度の拡充

- 65歳以上の免許証自主返納者に対し、市内バスやタクシー乗車無料券配布。【H24から実施中、市内バス・タクシー共通利用券11,000円分交付】

◆高齢者安全装置搭載車購入費補助制度の創設

- 「高齢者安全装置搭載車購入費助成事業」実施。【H31から実施、1人1台(回)限り 5万円補助】

◆成年後見制度の利用促進

- 成年後見制度の利用を促進するため基本計画策定及び実施体制の整備。【今後実施】

◆ 既存事業の整理・見直し

- 敬老祝金の支給額の見直し【H31から実施、
88歳1万円→5千円、100歳5万円→3万円、
105歳10万円→5万円】
- 藤原福祉センター(ふじの郷)の居住事業(生活支援ハウス)の平成30年度末廃止。
足尾保健・高齢者生活福祉センター(銅やまなみ館)に機能統合。【実施済】

[障がい者福祉の充実]

◆障がい者支援

- 新生児聴覚検査助成事業の新設【H31から実施】
- 障がい児支援のため「(仮)障がい児支援実務者会議」の設置検討。【今後実施】

[生活困窮対策]

- 生活困窮世帯等に属する高校生に対する中退防止事業(生活支援、悩み相談、保護者への情報提供等)の開始。【実施済】

③医療・健康対策

◆安定的な医療体制の確保

- 市内病院間や病院と診療所との連携を図るための「地域医療連携推進法人」の設立。

【平成31年4月1日設立】

- 獨協医大日光医療センター移転に関する覚書を締結。【実施済】

◆健康増進

- 健康マイレージの利用促進のための対象事業の拡大等の見直し。【H31から実施、ボランティア活動・自主サークル・民間スポーツクラブ等対象】
- 健康診査事業の見直し。【H31から実施、結核定期健康診査の肺がん検診への統合等】

【人が輝く日光を創る】

- 国内外から高い評価を受ける日光に息づく「伝統・文化・歴史」を日光市民が十分に感じることができるよう
- 住んでいるところに大人がほこりを感じ、その意識が子どもにつながるよう
- 「日光で生きていく」「将来は日光に住む」という気持ちが育まれるよう

～市民の日光プライドの醸成～

- 日光市民が日光の良いところ、自慢できるところを知って誇りを持つ。
- そして次の世代の子どもたちにしっかり伝えていくことが大切。
- 日光市民が自分たちの市に誇りとプライドをもつ市民力を培っていく。

重点項目

①子どもたちが輝くまちづくり

◆小中学校の統廃合を推進し、年代間の交流を推進

◆英語教育の充実

- 中学生の英検受験料の半額助成。【H31から実施】

②高齢者が輝くまちづくり

◆異世代交流の場の創出

◆高齢者の集いの場への支援

- 住民主体の集いの場(サロン)の設置を支援する補助金制度の構築。【今後実施】

③若者が輝くまちづくり

◆地元高等学校との連携強化

- 日光明峰高校存続に向けた支援策（県外から入学する生徒に対し、市営住宅への入居を優遇、下宿所の運営予定者に対し、施設整備費用を助成）【実施済】

④女性が輝くまちづくり

◆女性の起業促進

◆男性の育児・家事参加促進のための事業展開

◆各種女性団体との連携強化

⑤地域が輝くまちづくり

◆移住・定住のためのアピールポイントの積極的な発信

◆定住のための住宅取得後助成制度創設

• 市内に居住する若者世帯の住宅取得への支援。
【H31から実施、13万2千円の商品券を交付】

◆文化財保護の充実

◆文化・芸術への支援強化

◆地域間・自治会間交流の促進

◆市民活動団体の育成

◆地域スポーツクラブへの支援

【令和元年度予算の特徴】

- 行財政改革の推進により
「強い日光」創りに取り組むとともに
 - 行財政改革の推進
 - 補助金の見直し
 - 公共施設マネジメントの着実な実行
 - 新たな財源の確保
 - 「森林環境譲与税」を活用した森林所有者への経営管理意向調査の実施
 - 国内向け誘客プロモーションの展開
 - 海外プロモーション活動の展開
 - 避難行動支援システムの改修による防災対策の強化

- その上で良いことをしっかり
「継承」しながら「優しい日光」
 - 高齢者ドライバーへの安全装置搭載車の購入費補助金
 - 公立保育園における第三者評価業務の実施
 - 地域医療連携推進法人への運営支援
 - 新生児聴覚検査費用の助成
 - 給食施設の拠点化のための改修

・そして「人が輝く日光」創りを

- ・40歳未満の創業者や女性創業者への支援制度の拡充
- ・「日光の社寺」登録20周年記念 世界遺産サミット開催
- ・市内居住の若年世帯などの住宅取得への支援
- ・英語教育の促進のための英検受験への支援
- ・交流学習システムを活用した学校間交流の拡充

覚悟をもって、全力で取り組み、日光市の未来を開く予算